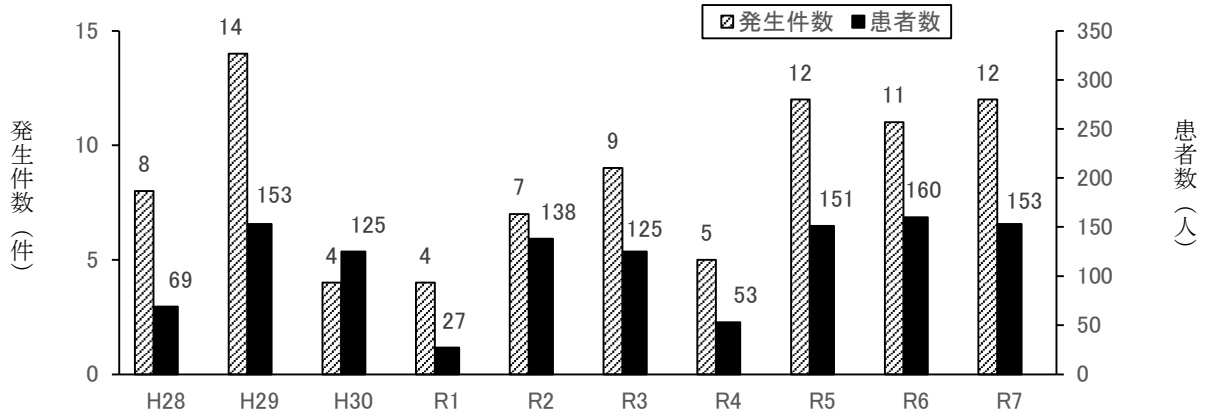


# 1 香川県食中毒発生状況（平成28年～令和7年）について

過去10年間に香川県内で発生した食中毒事件をとりまとめています。

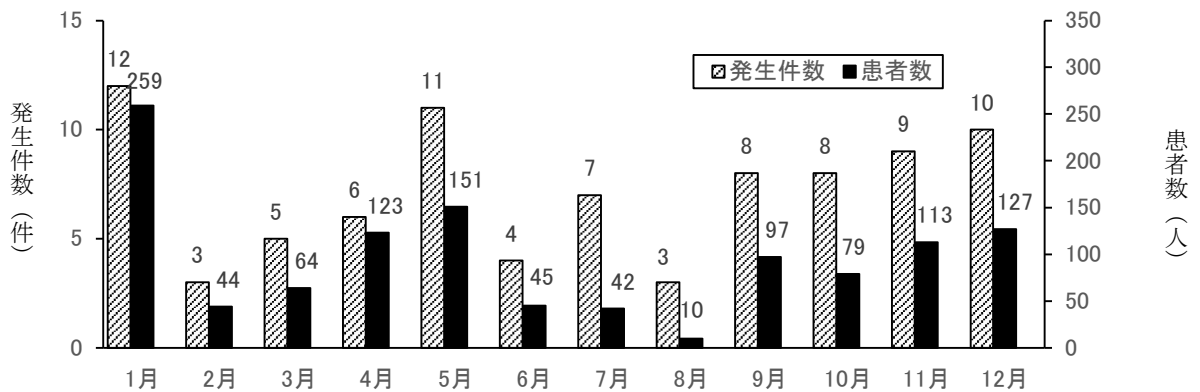
## (1) 年次別発生状況

過去10年間、平均すると8件程度発生していますが、年によって発生件数、患者数にバラツキがあります。死者はいませんでした。



## (2) 月別発生状況

一般的には、ノロウイルスによる食中毒は冬場に、細菌性食中毒は夏場に多く発生することが多いですが、近年は、カンピロバクター等による細菌性食中毒が冬場にも多く発生するなど、一年を通じて注意・対策が必要です。



### 【参考】香川県食中毒発生状況（令和7年）

※○囲みの数字は、高松市保健所分

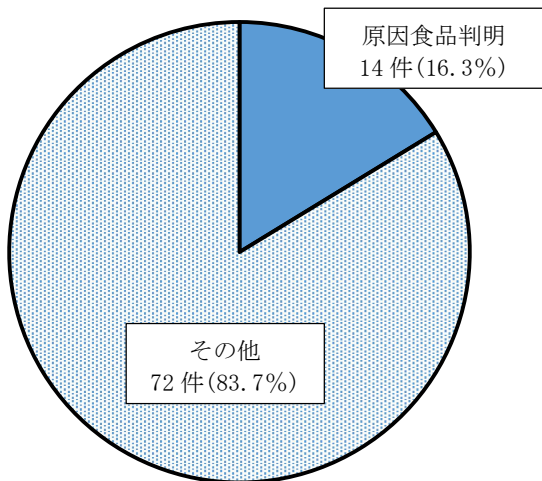
No	発生日月	発生場所	摂食者数	患者数	死者数	原因食品	病因物質	原因施設	摂食場所
1	7.1.5	善通寺市他	2	2	0	不明（1月2日に提供された食事）	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店	飲食店
②	7.1.19	高松市	11	5	0	不明（1月17日に提供された食事）	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店	飲食店
3	7.1.21	善通寺市	190	4	0	ブリの照り焼き	ヒスタミン	不明	事業場
④	7.1.30	高松市	6	3	0	不明（1月27日に提供された食事）	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店	飲食店
5	7.2.13	小豆郡	2	2	0	ヒラメ昆布ダマ（2月13日に提供された食事）	クドア・セブテンブクタータ	飲食店	飲食店
⑥	7.4.17	高松市	66	49	0	不明（4月17日に提供された食事）	不明	飲食店	飲食店
⑦	7.5.5	高松市	73	53	0	不明（5月5日に提供された食事）	不明	飲食店	飲食店
⑧	7.6.15	高松市	47	12	0	不明（6月14日に提供された食事）	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店	飲食店
⑨	7.8.18	高松市	11	3	0	不明（8月16日に提供された食事）	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店	飲食店
10	7.10.6	坂出市	49	5	0	不明（当該施設で調理された食事）	サルモネラ属菌	事業場	事業場
⑪	7.10.12	高松市	19	14	0	不明（原因施設で10月10日に提供された食事）	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店	飲食店
12	7.12.3	観音寺市	2	1	0	ふぐ塩焼き	ふぐ毒（テトロドトキシン）	家庭	家庭
計				153	0				

### (3) 原因食品別発生状況

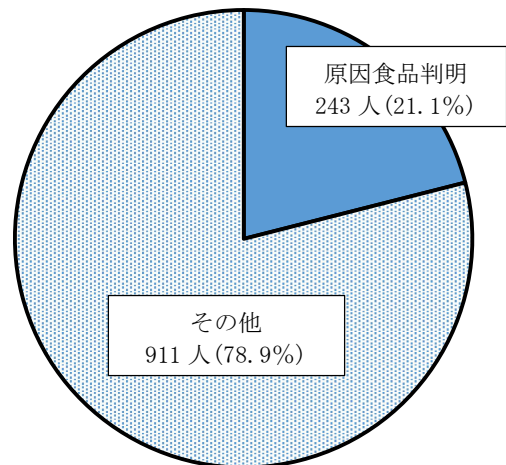
原因食品が判明したもののうち、発生件数では、魚介類、穀類及びその加工品の順になっています。また、患者数では、卵類及びその加工品、穀類及びその加工品の順になっています。食べた料理は特定できたものの、その料理のうちどの食品が原因で食中毒になったのか究明できず、「その他」に分類されることが多くなっています。

#### ① 原因食品について

ア 発生件数 (86 件)



イ 患者数 (1,154 人)

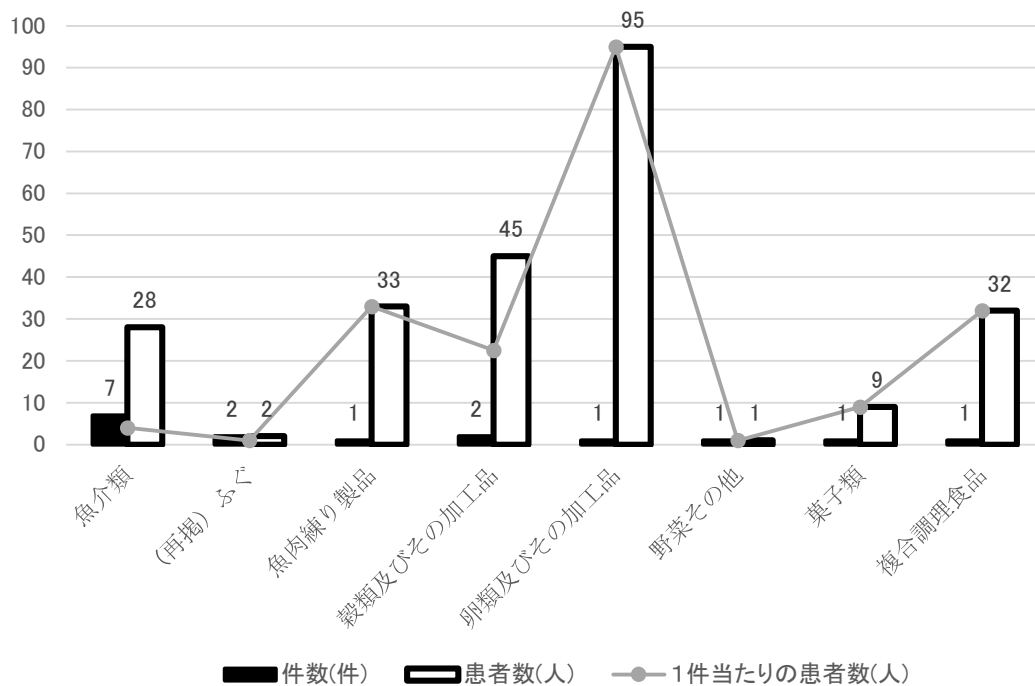


■原因食品判明 ■その他

■原因食品判明 ■その他

(注) 不明 (会席料理)、不明 (仕出し弁当) 等の場合は、「その他」に種別している。

#### ② 原因判明食品の内訳



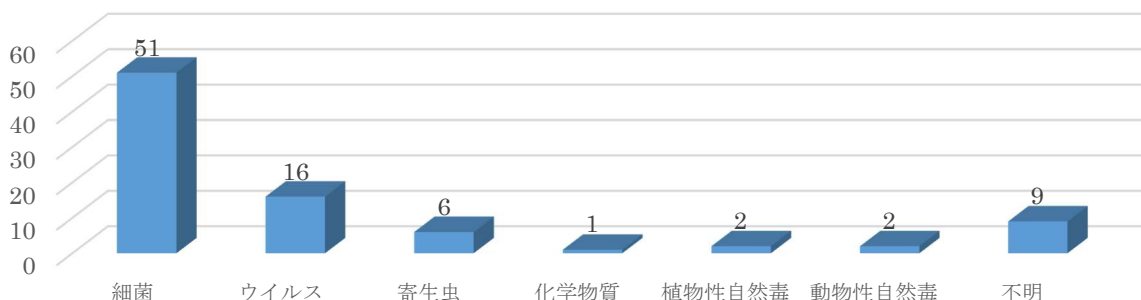
■件数(件) ■患者数(人) ●1件当たりの患者数(人)

#### (4) 病因物質別発生状況

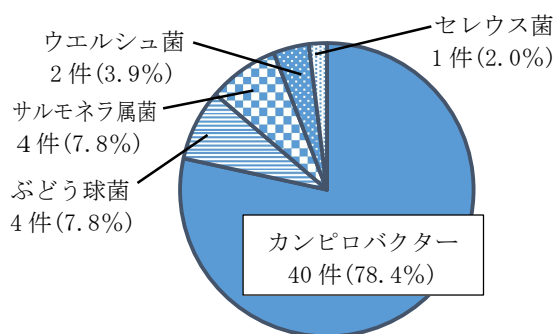
病因物質が判明したもののうち、発生件数、患者数のいずれにおいても、細菌性・ウイルス性による食中毒が多数を占めています。細菌性食中毒では、発生件数、患者数のいずれもカンピロバクターによるものが多くなっています。ウイルス性食中毒の病因物質は、全てノロウイルスによるものでした。

##### ① 病因物質別発生件数 (87 件)

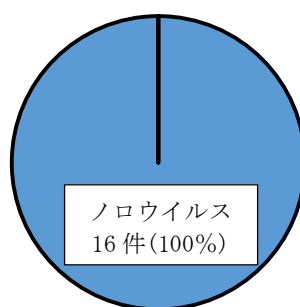
(複数の病因物質を原因とする事例があるため、実際の発生件数 (86 件) と一致しない。)



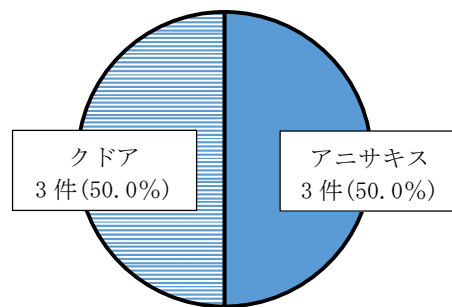
##### ア 細菌性食中毒



##### イ ウイルス性食中毒

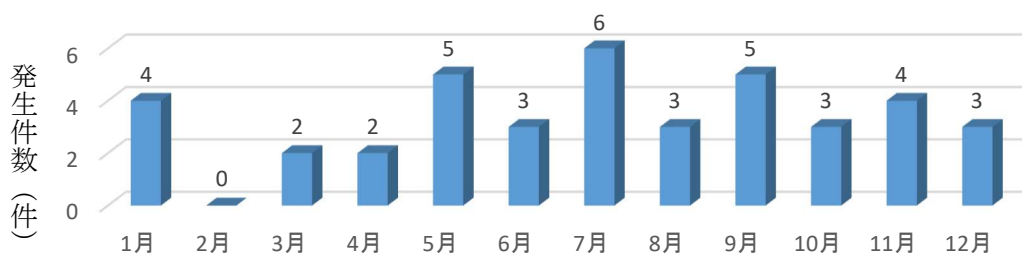


##### ウ 寄生虫による食中毒

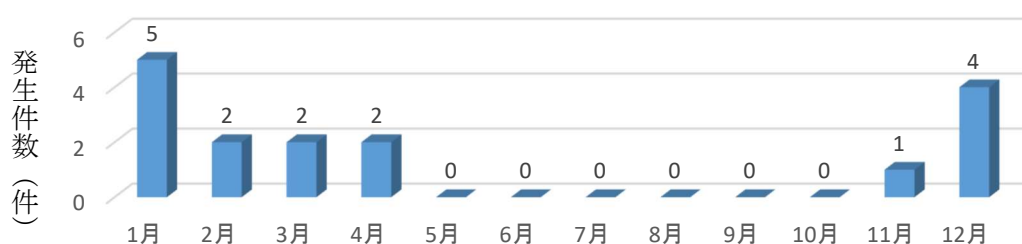


##### ② 病因物質別発生時期 (上位2病因物質)

##### ア カンピロバクター (40 件)

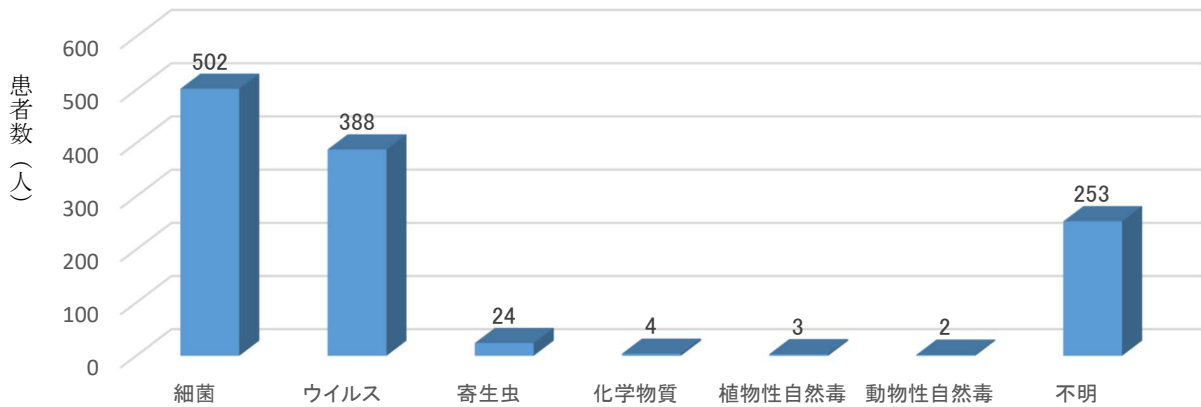


##### イ ノロウイルス (16 件)



### ③ 病因物質別患者数 (1,176 人)

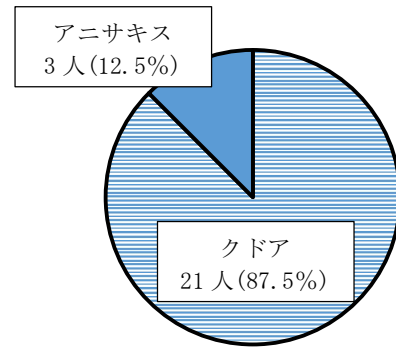
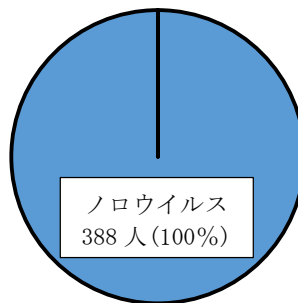
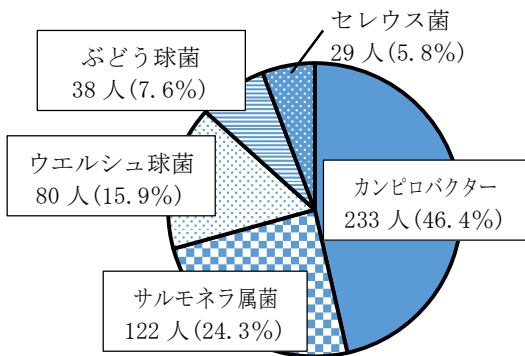
(複数の病因物質を原因とする事例があるため、実際の患者数 (1,154 人) と一致しない。)



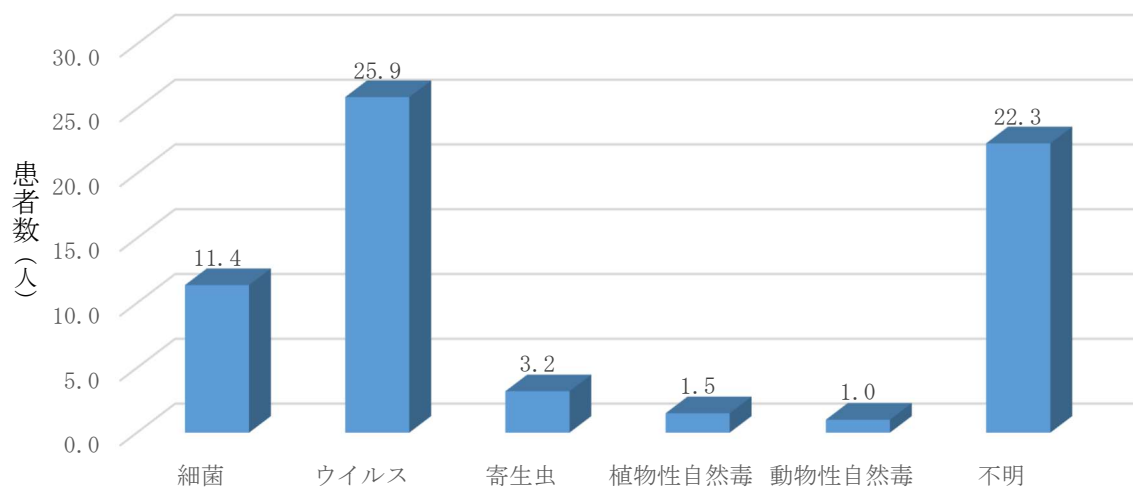
ア 細菌性食中毒

イ ウイルス性食中毒

ウ 寄生虫による食中毒



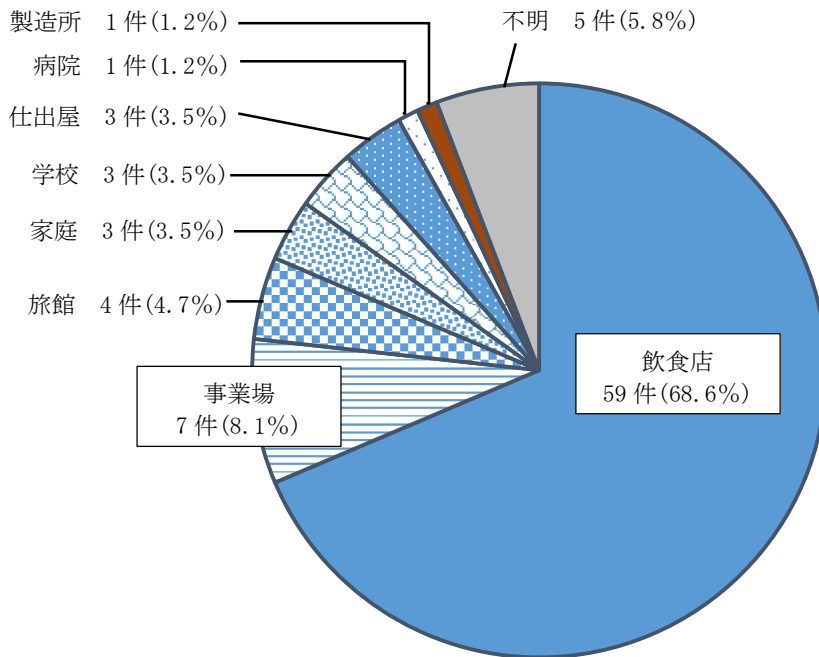
### ④ 病因物質別 1 件当たりの患者数



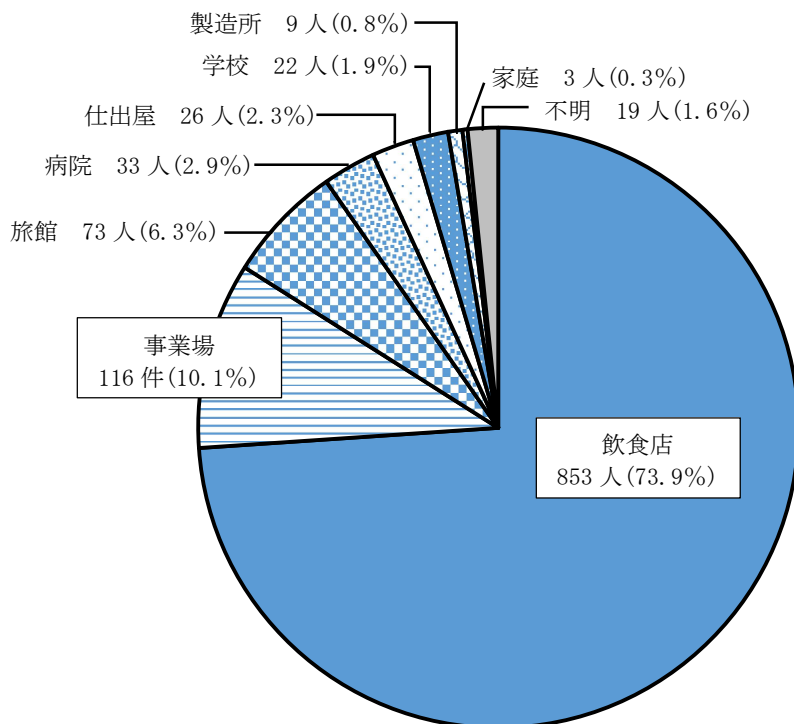
### (5) 原因施設別発生状況

原因施設が判明したもののうち、発生件数、患者数のいずれにおいても、飲食店、事業場、旅館の順に多くなっています。患者数では、飲食店、事業場が全体の80%以上を占めています。

#### ① 原因施設別発生件数 (86 件)



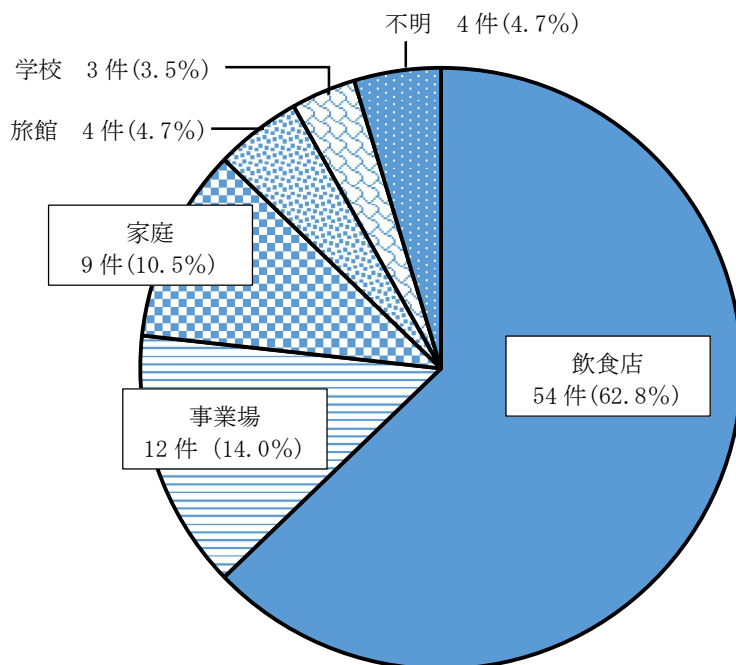
#### ② 原因施設別患者数 (1,154 人)



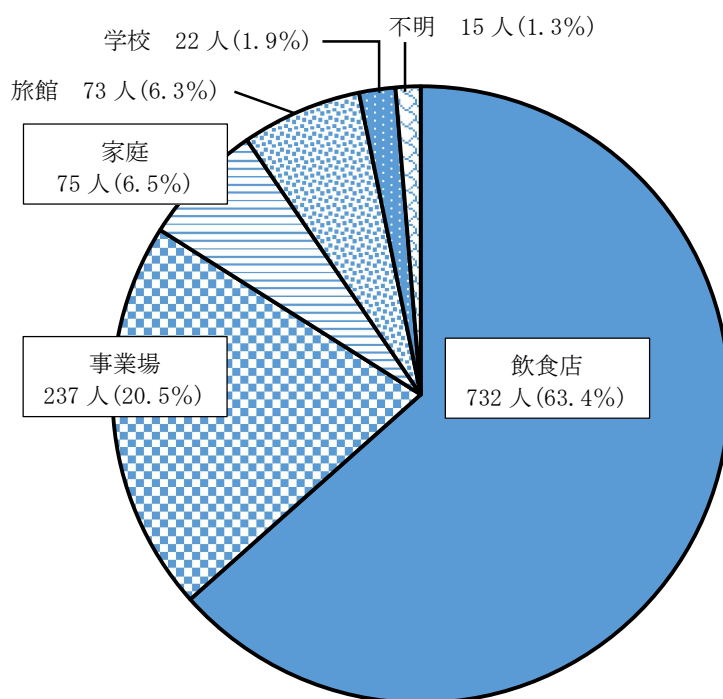
## (6) 摂取場所別発生状況

摂取場所が判明したもののうち、発生件数では、飲食店、事業場、家庭、旅館、学校の順に多く、患者数では、飲食店、事業場、家庭、旅館、学校の順になっています。

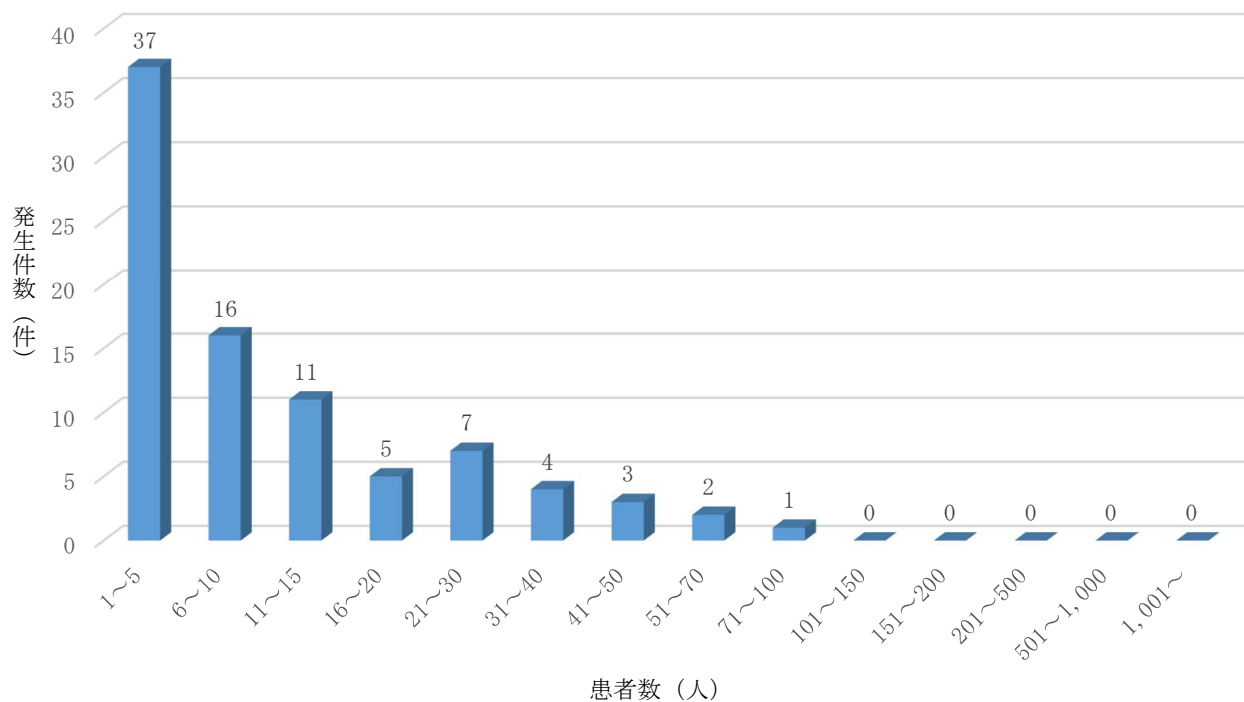
### ① 摂取場所別発生件数 (86 件)



### ② 摂取場所別患者数 (1,154 人)



(7) 規模別発生件数



(8) 年齢別・性別患者数

患者数 男 603人  
女 551人

(男)

(女)

